【ユメカケ】

夕暮れ間近の路地裏に
青いコウモリ
佇んでるよ

ジッと下を向いたまま
小さく肩を震わせてるよ
必死に泣き声こらえるように
静かに静かに震えているよ

スズメの群れが近づくと
急いで鼻水すすったよ
すました顔でそっぽを向くと
乾いた口笛かなでたよ

ネオンの花が咲き始め
街は活気に満ちてるよ
喧噪シャワーを浴びながら
奴は空を見上げたよ

西に輝く一番星が
弱った翼を照らしているよ
孤独な旅路をねぎらうように
優しい光を放っているよ

一番星の隣には
故郷の祠が映っているよ
澄んだ小川が映っているよ
大きな水車が映っているよ

奴が泣いてるよ……
胸にしまった泉から
涙の滝が流れていくよ
トタンの脇に身を寄せて
一心不乱に泣いてるよ

雫で歪んだ眼差しを
奴は手元に移したよ
表に『夢』と刻まれた
草のポーチが揺れてるよ

鬼の様な形相で
奴は空を睨んだよ
ギュッと奥歯を食いしばり
首を大きく横に振ったよ

夢中でポケットまさぐると
筐のタオルで瞼を拭いたよ
ポーカーフェイスを取り戻し
フーッと一つ息を吐いたよ

星は静かに瞬いて
祈りの光を送っているよ
キザで頑固な泣き虫の
決意の翼を見守ってるよ

不意に初冬のビル風が
渦巻くようにうねったよ
茶色い枯れ葉が舞い上がり
奴は闇へと飛び立ってくよ

夜の幕開く路地裏で
僕はギターを手にしたよ
奴の覚悟を見届けて
僕も夢を追い続けるよ